

ボランティアに参加しよう

今年は自然災害が多く、被災地の復興に向けたボランティア活動の報道をよく目にする。

西日本豪雨の被災地では土砂のかき出しや瓦礫等の撤去に人手が不足しているため、災害ボランティアの募集は現在も続いている状況だ。そんな中ボランティアの参加を考える読者に向け、本記事ではシティライフ記者が参加した際の体験も交え、参加方法を紹介していく。

広島県呉市天応地区では、まだ土砂が積もったままの家屋が多く残る。(9月1日撮影)



広島県呉市にボランティアを訪れる

今 回訪れた被災地は、シティライフが主催するイベント「ロハスフェスタ広島」の開催地からほど近い広島県呉市にある天応地区。まず参加するにあたり、インターネットで詳しい情報を収集した。「くれ災害ボランティアセンター」のホームページにたどりつき、具体的な募集内容を確認できた。現地の受付場所や時間、作業内容、当日の服装、持ち物な

どが詳細に紹介され、ボランティアの心得も掲載されている。また、事前に自治体などがボランティアの受入れを承諾した場合、「災害派遣等従事車両証明書」が交付され、自宅から現地までの往復の高速道路の費用が免除されることもわかり、申請した。



「災害派遣等従事車両証明書」は、まず現地のボランティアセンターから承諾書を受領し、ボランティア参加者が移住する市役所で発行の手続きをする。高速道路は無料で利用できる。
※9月30日までの予定。

当日は受付を呉市役所で済まし、ボランティアを要請した人の家屋にそれぞれ2〜10人ほどのチームに編成される。しかし訪れた9月1日は、大雨で屋外での作業は中止となり、そのため市役所内でボランティア関連の書類や報告書を整理し、またボランティア用の資材置き場の清掃を実施することになった。作業報告書の記載内容では、日ごとに作業完了の文字が多くなっているものの、まだまだ日数のかかる家屋もあった。ただボランティアの数も日ごとに減っていることがわかった。

ボランティア参加者の地域はさまざま。遠方の東北からの参加者も多く「困ったときはお互い様、東北大震災の時の恩返し」と報告書には綴られ、ボランティアの輪が広がっているのを感じた。



災害ボランティアの服装や携帯品も「レスキューストックヤード」のホームページでわかりやすく紹介されている。

大阪府初 障がい者への配慮を条例化

茨 木市は「茨木市障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定し、4月1日から施行された。本条例は、内閣府が2016年に施行した「障害者差別解消法」を受け、誰もが暮らしやすい社会になることを目指して制定されたもので大阪府下初。障がいをもつ人に対する「合理的配慮」が義務化された。対象は、市役所と市内の事業者。障がいのある人に、正当な理由なく、障がいを理由として、サービスの提供を拒否したり、サービス提供の場所や時間帯などを制限することなどが禁止される。正当な理由がある場合には、その理由を説明し、別の方法を提案するなど、話し合い、理解を得よう努めることが求められる。



店先にスロープを設置した例(六條さん提供)。

市は、点字メニューの作成や手すりの設置など、合理的配慮の提供にかかる費用助成を開始している。条例制定に携わった、茨木障害フォーラムの六條友聡さんは、「市民の方に広く知ってもらい、障がいのある人もない人も分け隔てなく、そして、どんな障がいをもつ人にとっても、暮らしやすい街になることを願っています」と語った。

「摂津優品(せっつすぐれもん)」認定商品決まる

摂 津市と摂津市商工会が一体となって昨年からの取り組み始めた「摂津優品(せっつすぐれもん)」の第2回認定式が9月3日、摂津市役所にて執り行われた。「摂津優品」とは、市内の事業者で生産・製造・加工されたモノや食品を一定基準が満たせば「ものづくりのまち 摂津」が誇る商品として認定する制度だ。認定商品は認定委員会による審査を経て決定される。

今年度の認定商品は、前村食品の「まほろしの鳥飼なす漬」と株式会社トゥームストーンの「ソニックマスター」の2点。「まほろしの鳥飼なす漬」は摂津市の特産品である鳥飼なすを一個丸ごと、隠し味にワインなどを入れたリンゴ酢に漬け、さっぱりとした

味に仕上げた漬物だ。「ソニックマスター」はルアーの操作性や剛性に優れたリールで、エレキギターの実際の部品を使用しているほか、波をモチーフにしたユニークなデザインのハンドルなどエキセントリック且つアンティークな雰囲気が漂う逸品である。

摂津市長は「こうした『摂津優品』の数を増やしていくことが『ものづくりのまち 摂津』として重要だ」、商工会会長は「今後は『摂津優品』を発展させるために告知や販売にも力を入れていきたい」と語った。

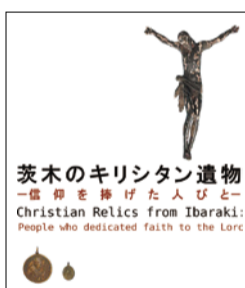


9月に行われた第2回摂津ブランド認定式の様子。

キリシタン遺物の冊子を刊行

茨 木市教育委員会は、茨木のキリシタン遺物について解説する冊子「茨木のキリシタン遺物―信仰を捧げた人びと―」を3月に刊行した。「キリシタン遺物史料館」の開館30周年を記念して「千提寺・下音羽のキリシタン遺跡」をリニューアルしたもの。長崎だけでなく大阪にも隠れキリシタンが存在していたことや、美術史的にも価値の高い遺物が現存していることを、市民のみならず全国

の人にも知ってほしいという思いを込めて制作された。貴重なキリシタン遺物をどのように守り伝えていくかが課題となっており、担当者は「まずは冊子を通じてその存在を多くの人に知ってもらいたい」と話す。

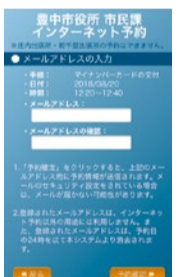


A4版 500円(税込)。キリシタン遺物史料館や茨木市立文化財資料館などで販売。

住所変更などの申請手続きインターネット予約開始

豊 中市は、住所変更と個人番号カード(マイナンバーカード)の交付・申請手続きに関して、9月1日よりインターネット予約をスタートした。住所変更手続きのインターネット予約の導入は大阪府内初で全国でも珍しい取り組み。待ち時間の短縮と混雑の緩和を目指して導入されたもので、市の担当者は

住所変更は15分刻みの時間指定で1時間に4名、個人番号カードの手続きは20分刻みで1時間に3名の予約を受け付ける。



「混雑が予想される3月下旬から4月上旬にかけて効果を期待したい」と話す。市ホームページの「引越」アイコンをクリックして「市民課インターネット予約」から予約する。インターネット環境がない場合等は電話予約も可能。

キャッシュカードをだまし取る詐欺が増加

協力:大阪府警察



平成30年8月末の大阪府内での特殊詐欺発生状況は、認知件数が876件(前年比+307件)、被害金額が約21億8000万円(前年比+5億3000万円)と共に減少している。しかし、息子や警察官等になります「オレオレ詐欺」については、大幅に増加している。

また、言葉巧みに高齢者からキャッシュカードをだまし取り、ATMで現金を引き出す手口も増えている。この手口は、役所職員や銀行員になります「保険料(医療費)の還付金がある」等と電話をかけ、振り込んでほしい口座の銀行名等を聞き出す。その後、銀行の職員になります「還付金の振込手続きに必要なので、暗証番号を教えてください」「そのカードは古いので新しいものと取り替えます」等と、キャッシュカードをだまし取り、ATMで現金を引き出すというもの。銀行や役所がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞くというのは詐欺である。このようなことがあれば、最寄りの警察署に必ず相談を!

大阪府下の特殊詐欺認知件数(暫定値)

| 認知件数 | H30 (1-8月) | H29 (1-8月) | 増減 | |
|------|---------------|---------------|------|------|
| | | | 件数 | 増減率 |
| 振込詐欺 | 876 | 1,183 | -307 | -26% |
| 振込詐欺 | 867 | 1,165 | -298 | -26% |
| 振込詐欺 | 500 | 273 | 227 | 83% |
| 振込詐欺 | 307 | 344 | -37 | -11% |
| 振込詐欺 | 22 | 35 | -13 | -37% |
| 振込詐欺 | 38 | 513 | -475 | -93% |
| 振込詐欺 | 9 | 18 | -9 | -50% |
| 振込詐欺 | 1 | 10 | -9 | -90% |
| 振込詐欺 | 5 | 1 | 4 | 400% |
| 振込詐欺 | 3 | 7 | -4 | -57% |
| 振込詐欺 | 0 | 0 | 0 | - |

【被害に遭わないために】
例え銀行や警察であっても 暗証番号は誰にも教えない
キャッシュカードは誰にも預けない